

研究・教育・社会活動報告

網谷 祐一 (2024年4月～2026年3月)

1. 研究活動

研究発表

- 2025年6月 “Is Taxonomy a Second-rate Science?,” A joint conference of the Asia-Pacific Philosophy of Science Association (APPSA) and the Taiwan Association for Logic, Methodology, Philosophy of Science and Technology, National Yang Ming Chiao Tung University (NYCU), Taiwan.
- 2024年9月 「分類学は二流の科学か」、生物学基礎論研究会、会津大学、福島。

翻訳

- エリザベス・ロイド著『哲学者、女性のオーガズムの進化にどむ』勁草書房、東京、2025年12月 [全訳]
- リー・マッキンタイア著『「科学的に正しい」とは何か』ニュートン新書 (ニュートンプレス)、東京、2024年4月 [監訳]

書評・その他

- 2026年1月 「「女性のオーガズム」は何のために進化した…? この問いをめぐる議論から見えること」、現代ビジネス、講談社。URL: <https://gendai.media/articles/-/162799>
- 2025年10月 「書評 田中泉吏・鈴木大地・太田紘史著『意識と目的の科学哲学』、慶應義塾大学出版会」、『科学基礎論研究』、53巻1・2号、89-93頁。

2. 教育活動

会津大学における担当授業 (2025年度)

- アカデミックスキル1・2
- 哲学 (日・英)
- 科学史
- 課外プロジェクト (「AI・ロボットと倫理」)

非常勤講師 (主なもの)

- 2024年7月 東京大学大学院医学系研究科 (担当科目: 「医学共通講義 XXII (生物学の哲学入門/医学・生物学の哲学入門)」)

3. 社会活動

一般向け講演

- 2024年7月 「研究とはなにか、どういう意味があるか: 探究学習のすすめ」、福島県立会津高校。

学外委員

- 福島県大沼郡会津美里町教育委員会事務管理及び執行状況の点検及び評価における有識者会議委員 (2025年4月-2026年3月)、日本科学哲学会 (理事 [理事会担当理事]、学会誌編集委員 [2025年3月まで])、科学基礎論学会 (評議員)、『科学哲学科学史研究』誌 (編集委員)

池本 淳一 (2024年4月～2026年3月)

1. 研究

共同研究 2022.5～2025.3 「空き家対策の推進」(喜多方市・都市整備課との共同研究)

企画・イベント出展

2024.3.16-24、「デジタル未来のモノづくり 2～3Dモデリング～」 「デジタル未来のモノづくり 2～電子工作のふしぎ発見～」 「疑似ホログラム 2」 「ゲームで遊んで郷土を知ろう！」、デジタル未来アート展(会津若松市・会津稽古堂)、株式会社ルート49様(デジタル未来アート事業実行委員会からの事業受託者)より奨学寄附金を授与。

2025.3.15-24、「デジタル未来のモノづくり 3」 「光の宝さがし」 「ゲームで郷土と社会を知ろう！」 デジタル未来アート展(2024.3.15-24、会津若松市・会津稽古堂)、宮泉銘醸株式会社(デジタル未来アート事業実行委員会からの事業受託者)より奨学寄附金を授与。

2026.3.14-23、「光センサーうちゅうたんけん」 「さわって学ぼう！ でんきのぼうけん」 「会津スターツアー」 「ローカルゲームコーナー」 デジタル未来アート展(2026.3.14-23、会津若松市・会津稽古堂)、宮泉銘醸株式会社(デジタル未来アート事業実行委員会からの事業受託者)より奨学寄附金を授与。

課外プロジェクトでのイベント参加(デジタルゲーム展示)

2024.7.13～14、2025.7.19～20、「わくわくアイティランド」 喜多方レトロ横丁

2025.1.26、2026.1.24、こどもミニミニはくぶつかん～ものづくりとICTで遊ぼう～

インタラクティブセッション(ポスター発表&作品展示)発表

池本淳一・米倉佳祐・齋藤毬瑛・鈴木千尋(2025) 「空き家予防のための各種シリアスゲームの開発」 日本デジタルゲーム学会 2025年 夏季研究発表大会予稿集、pp. 240-243

中野英三朗・鈴木日向・反町佳暉・泉亮多・後藤健太・星野大・佐々木優希・芳賀満丞矢・柳田サリム・山内佳乃・池本 淳一(2025) 「大学生活への理解と交流を促す新入生向けのすごろく型デジタルゲームの開発」 日本デジタルゲーム学会 2025年 夏季研究発表大会予稿集、pp. 260-263

池本淳一(2026) 「空き家補助金制度に関するエレメカ式クイズゲームの開発」 日本デジタルゲーム学会第16回年次大会予稿集、pp281-284

2. 教育・運営・FD活動

担当授業 アカデミックスキル1・2 社会学 地域社会学 Sociology(集中講義)

2024-2025年度 前・後期 課外プロジェクト「デジタルゲーム&地域イベントプロジェクト」

部活顧問 カンフー部

3. 社会貢献など

2020.10～2026.3 会津喜多方商工会議所 事業推進アドバイザー

2023.6.18～2025.6.17 喜多方市立小中学校適正規模適正配置審議会委員

2023.6.16～2026(終了時まで) 公益財団法人会津若松文化振興財団 理事

蛭名 正司 (2024年4月～2026年3月)

1. 研究活動 (著作・出版, 学会発表など)

【学術論文】

- ・蛭名正司・川島廉人・渡部有隆 「情報I」プログラミング教育における問題演習ログを用いたカリキュラム評価 日本教育工学会誌, 49, Suppl. (印刷中)

【学会発表】 (主なもの)

- ・Ebina, S The Effectiveness of Open-Ended Problems in Correcting the Misconception of Ratio Addition. International congress of psychology. (2024.7)
- ・蛭名正司, 渡部有隆, 柴田和聖, 菊池 啓一郎 自動採点システムを用いた高校のプログラミング授業の効果 日本教育心理学会総会発表論文集 66, 288 (2024.9)
- ・蛭名正司 仮想生徒を用いた数学授業シミュレーションにおける教職課程学生の対話分析 日本教育工学会 2025 年春季全国大会 (2025.3)
- ・蛭名正司 知識の活用文脈に関する小学生の不十分な理解—割合の場合— 日本教授学習心理学会第21回年会予稿集, 38-39 (2025.6)
- ・蛭名正司 知識の活用文脈の不十分な理解が問題解決に及ぼす影響—割合の場合— 日本教育心理学会総会発表論文集 67, 293 (2025.10)

【研究助成等】

- ・福島県学術教育振興財団助成対象事業 “高大連携による AOJ を用いたプログラミング学習環境の構築” 研究分担者 (代表: 渡部有隆) (2023.4-2026.3)
- ・Competitive Research Funds “Does the Use of ICT Devices Really Improve Achievement in Arithmetic and Mathematics?: An Examination Using Multilevel Analysis of National Assessment Data” (PI: EBINA, Shoji) (2025.4-2026.3)

2. 教育活動

教育心理学, 教育方法, 教育課程論, 数学科教育法1, 数学科教育法4, 情報機器の活用に関する理論と方法, 教職実践演習, 教育実習1, 教育実習2, 教育実習事前事後指導, アカデミックスキル1, アカデミックスキル2, 卒業研究, 課外プロジェクト「教師になろう！」

3. 学内運営 (委員会など)

情報センター運営委員会 (2024年4月-), 図書委員会 (2024年4月-)

4. 社会活動

【委員等】

会津若松市教育委員会「教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価」委員 (2018-), 会津若松市立一箕中学校学校運営協議会委員 (2020-)

【その他】

日本教授学習心理学会理事 (2023-), 日本教授学習心理学会編集委員会事務局 (2019-)

沖 和砂 (2024年4月～2026年3月)

1. 研究 ※代表的な研究のみ記載

(学会発表)

- Kazusa Oki, Development of Basic Guidelines for Safe Lift Access for Disabled Skiers, 16th International Conference Applied Human Factors and Ergonomics (AHFE2025) and Affiliated Conferences, JW Marriott Orlando, Florida, USA, July 29, 2025 (poster・査読有)

(学術論文)

- Kazusa Oki, Investigation of Preventive Measures for Injuries in Handcycle Training of Disabled Skiers, Biomedical Journal of Scientific & Technical Research, 60 (1), Online Booklet Edition, December 2024 (査読有)
- Kazusa Oki, Development of Basic Guidelines for Safe Lift Access for Disabled Skiers, Human Factors in Sports, Preventive Medicine and Innovative Agonology, 188, 14-21, 2025 (査読有)

(書籍)

- 水野基樹 [編著], 「リーダーシップの新機軸—スポーツマネジメントと組織論のダイナミズム—」, 株式会社創成社, 2025, ISBN:9784794426406 (コラム5編を担当)

(競争的研究費)

- The 2024 University of Aizu Competitive Research Funding “Development of Basic Guidelines for Safe Lift Access for Disabled Skiers” (研究代表者)
- The 2025 University of Aizu Competitive Research Funding “Development of Basic Guidelines for Safe Lift Access for Disabled Skiers (Research focused on sitting pressure)” (研究代表者)

2. 教育・運営・FD活動

(担当授業)

- 健康・スポーツ科学実習1 (3クラス)
- 健康・スポーツ科学実習2 (3クラス)
- 生涯スポーツ科学実習 (スキー)
- 精神保健学
- アカデミックスキル1、2
- 卒業研究
- SCCP (A unique sport in Aizu)

(学内委員会)

- ハラスメント防止/対策委員会 (ハラスメント相談員)
- 衛生委員会
- 教職員のための運動プログラム講師
- 大学開放企画委員会

3. 社会貢献

(外部委員)

- 福島県スキー連盟 (総務本部長/副理事長)、国民スポーツ大会福島県選手団監督/コーチ
「福島のシュプール」2025年11月1日発行, 編集委員長
- 福島県スポーツ指導者協議会 (理事・講師)
- (公財) 福島県スポーツ協会 各事業 (講師)
- 人類働態学会 (事務局長・理事)
- 日本体育・スポーツ・健康学会 (応用研究部会・スポーツ文化研究部会員) 体育心理分野より選出 (講演活動)

※県内外各所において講演活動を実施

苅間澤 勇人 (2024年4月～2026年3月)

1 研究活動 (著作・出版, 論文, 学会発表)

- ・小川千里・春日智稀・佐藤好江・神保しげみ・高橋直子・苅間澤勇人・内野博之・仲里直美 (2025).
「チーム学校」を支える解決思考チーム会議のはじめ方—ファシリテーターに挑戦すると決めた
経験を通して— 2025年日本教育カウンセリング学会第22回研究発表大会発表論文集, pp. 26-
31
- ・ライセンスアカデミー進路情報研究センター(2025). 進路情報研究センターメールマガジン 2025
Vol. 502, Vol. 506, Vol. 510, Vol. 514, Vol. 518, Vol. 522, Vol. 526, Vol. 530, Vol. 535, Vol. 539, Vol. 54
3

2 教育活動

- ・教育入門 ・教師入門 ・生徒指導・教育相談 ・キャリア教育 ・教育実習事前事後指導
- ・教育実習1 ・教育実習2 ・情報と職業 ・教職実践演習 ・アカデミックスキル1・2

3 社会活動

(1) 会津大学公開講座

○教員派遣公開講座

- ・福島県教育センター ・白河市教育委員会 ・いわき市教育委員会
- ・会津坂下立坂下東小学校 ・会津坂下立坂下南小学校 ・会津坂下立坂下中学校
- ・会津美里町立高田小学校 ・白河市立白川第三小学校 ・矢祭町立矢祭中学校
- ・矢祭町立矢祭小学校 ・須賀川市立義務教育学校稲田学園
- ・須賀川市立長沼東小学校 ・須賀川市立阿武隈小学校 ・須賀川市立仁井田小学校
- ・会津若松市立謹教小学校 ・会津若松市一箕小学校 ・鮭川村立鮫川小学校

(2) 研究成果の還元 (研修会)

- ・栗原市教育委員会 ・東松島市教育委員会 ・一戸町教育委員会
- ・洋野町教育委員会 ・栃木県 鹿沼市立東中学校 ・岩手県 盛岡市立城東中学校
- ・岩手県 一関市立桜町中学校 ・岩手県立軽米高等学校 ・山形県立鶴岡工業高等学校

(3) 委員等

- ・会津若松市教育委員会 学力向上委員会 (委員長) (2016年度から)
- ・白河市いじめ対策連携協力会議 (委員) (2018年度から) ・その他

(4) 学会活動

- ・日本教育心理学会 社員 ・日本教育カウンセリング学会 常任理事
- ・日本教材学会 常任理事 ・日本学級経営心理学会 常任理事
- ・日本特別活動学会 理事 ・日本カウンセリング学会 代議員 (社員)

河村 昭博 (2024年4月～2026年3月)

1 研究活動

(学術論文)

- ・河村昭博 (2025) 「GIGA スクール時代の教員養成における ICT 活用能力の育成」, 会津大学文化研究センター研究年報第 32 号 2025 (査読なし)
- ・河村昭博 (2025) 「学級集団アセスメント研修における実践知の形式知化 教員支援の 5 原理モデルの構築」, 会津大学文化研究センター研究年報第 32 号 2025 (査読なし)

(書籍) (主なもの)

- ・河村茂雄 (編者), 武蔵由佳, 河村昭博, 他 (2025). 教育相談の理論と実際—三訂版—, pp.58-60, 160-161, 図書文化
- ・河村茂雄 (編者), 武蔵由佳, 河村昭博, 他 (2025). 生徒指導・進路指導の理論と実際—三訂版—, pp.47-55, 図書文化
- ・河村茂雄 (監修), 井口武俊, 河村昭博, 他 (2025). アクティブラーニングを推進する学習集団/学級集団づくりのためのアンケート WEBQU 解説書, pp.24-25, 58～61, 86, WEBQU 教育サポート

(学会発表) (主なもの)

- ・河村昭博 (2025). ICT 活用授業設計における NPS と Big Five 特性を用いた自己実践の振り返り, 日本教育心理学会総会発表論文集 67, pp.179 (2025.10)
- ・河村昭博, 齊藤勝, 井口武俊, 末松加奈, 奥井智一郎 (2025). 学びを促す ICT とは何か, 第 67 回日本教育心理学会自主シンポジウム, 日本教育心理学会総会発表論文集 67, pp.128-129 (2025.10)
- ・河村昭博, 齊藤勝, 井口武俊, 稲田達也, 荻間澤勇人 (2025). GIGA スクール時代の発達課題支援, 第 22 回日本教育カウンセリング学会自主シンポジウム, 第 22 回研究発表大会発表論文集 22, pp.36-41 (2025.11)

2 教育・運営

(担当授業)

会津大学 (2025 年度～) 教育入門, 教師入門, 情報科教育法 1, 情報科教育法 2,
生徒指導・教育相談, 教育実習事前事後指導, 教育実習 1, 教育実習 2, 情報と職業,
教職実践演習, アカデミックスキル 1, アカデミックスキル 2

(非常勤講師)

早稲田大学 (2019 年度～2025 年度) 心理学統計法, 心理学統計法, インクルーシブ教育原論,
総合的な学習原論, 特別支援活動原論, 特別活動原論
跡見女子学園 (2021 年 10 月～2025 年 3 月) 教育心理学

(学内委員会) 学生支援委員会

3 社会貢献

(自治体依頼教員向け研修会) ・宇都宮市教育委員会 ・岐阜市教育委員会 ・北茨木市教育委員会
・高萩市教育委員会 ・我孫子市教育委員会 ・宮古島市教育委員会 ・栗原市教育委員会
・須賀川市教育委員会 ※その他小中学校にて研修実施

(外部委員) ・会津美里町いじめ問題調査委員会委員 (2025 年 10 月～)

(学会活動) ・日本教育心理学会 社員 ・日本教育カウンセリング学会 学会員

・日本学級経営心理学会 会計監査 | 査読員 ・日本カウンセリング学会 学会員

小暮 克夫 (2024年4月～2026年3月)

1. 研究

(学術論文)

- Takasaki, Yoshito, Katsuo Kogure, and Mayuko Onuki, "The COVID-19 Pandemic Could Worsen the Psychological Well-being of People with Disabilities in Cambodia," *Scientific Reports* (forthcoming). (査読有)
- Kogure, Katsuo and Yoshito Takasaki, "A Multi-Scalar Causal Approach across Space and Time: An Application to the COVID-19 Pandemic in São Paulo State, Brazil," *Journal of Quantitative Criminology* (forthcoming). (査読有)
- Kogure, Katsuo and Yoshito Takasaki, "Conflict, Institutions, and Economic Behavior: Legacies of the Cambodian Genocide," *Journal of Economic Behavior and Organization* 228 106796 December 2024. (査読有)
- 小暮克夫「紛争の診断：2025年タイ・カンボジア国境紛争の要因と展望」『ESTRELA』382, 2026年1月, pp.32-37. (査読無, 依頼論文)

(分担執筆)

- 小暮克夫「第11章 紛争—人はなぜ争うのか」高橋和志・樋口裕城・牧野百恵編『実証から学ぶ開発経済学』pp.203-222, 2025年, 有斐閣ブックス.

(講演・口頭発表等)

- Kogure, Katsuo "Civil War and Insect Food Culture in Cambodia," AGU SIPEC IE SEMINAR, 青山学院大学 2025年7月16日 (査読無)
- Kogure, Katsuo "Civil War and the Evolution of Insect Food Culture in Cambodia," 企業研究所公開研究会, 中央大学 2025年6月25日 (査読無)
- 小暮克夫「歴史的出来事に対する因果推論」、第17回生物学基礎論研究会特別講演, 会津大学 2024年9月3日 (査読無)

(競争的研究費)

- 2025-29年度 科研費(基盤研究(C)). 「紛争の長期的影響に関する実証研究」(研究代表者)
- 2025-29年度 科研費(基盤研究(A)). 「実証開発経済学の新しい体系化に向けて」(研究分担者)
- 2024-28年度 科研費(国際共同研究加速基金(海外連携研究)). 「熱帯雨林の保全と開発に関する学際共同研究の発展に向けて」(研究分担者)
- 2023-26年度 科研費(基盤研究(B)). 「カンボジアにおける昆虫養殖を活用した貧困削減と未来型食品生産の両立の可能性」(研究分担者)

2. 教育・運営

(担当授業) 経済学(日本語), 経済学(英語), 経済発展論, アカデミックスキル1・2

(学内委員会) 教育の内部質保証ワーキンググループ(2023-24年度)、FD委員会(2024-25年度)

3. 社会貢献

(外部委員)

- 一橋大学経済研究所(非常勤研究員)(2021-25年度), 会津若松地方広域市町村圏整備組合情報公開等審査会委員(委員)(2020-25年度)

中澤 謙 (2024年4月～2026年3月)

1. 研究

学術論文 (査読あり)

- ・ 中澤 謙, 久田 泰広, 渡部 琢也, 西原 康行 (2025) ウェアラブルアイトラッカーの映像と対話による熟練保育者の「みえ」の共有 日本教育工学会論文誌 49 (1) pp.65-77
doi.org/10.15077/jjet.48002

紀要論文 (査読なし)

- ・ 中澤 謙 (2026) 集中水泳実習における学習プロセスの可視化— 学生リフレクションの計量テキスト分析 —. 会津大学文化研究センター年報

学会発表 (予稿集・研究報告)

- ・ 中澤 謙 (2025) 大学体育における集中水泳実習の教育的意義—リフレクション記述分析による awareness と attunement の展開—.
- ・ 中澤 謙, 西原 康行 (2025) スポーツ実践における状況認識と省察の可視化 日本教育工学会研究報告集 2025 巻 4 号 p.113-117
doi.org/10.15077/jsetstudy.2025.4.113

査読協力

- ・ Early Childhood Education Journal (Springer), Ad-hoc Reviewer
- ・ Child & youth care forum (Springer), Ad-hoc Reviewer
- ・ コーチング学研究 (日本コーチング学会), Ad-hoc Reviewer

2. 教育・学内運営

(教育)

「健康スポーツ科学科目」健康・スポーツ科学実習 1 (C2, C3, C5),
健康・スポーツ科学実習 2 (C1, C3, C5), 生涯スポーツ科学実習 (水泳)
「人文社会科学科目」 アカデミックスキル 1、アカデミックスキル 2, 健康教育論
「卒業論文」

(学内運営)

- ・ 教育研究審議会, カリキュラムワーキンググループ, 他.

3. 社会貢献

(学外委員会等)

- ・ 福島県スポーツ振興基金 (理事)
- ・ 福島県スポーツ医・科学委員会 (委員)
- ・ (一社) 福島県水泳連盟 (医事委員長)
- ・ (公財) 日本水泳連盟学生委員会北部支部 (顧問)

執筆者一覧（五十音順）

網谷 祐一	(A)	会津大学教授（哲学・科学史）
池本 淳一	(A)	会津大学上級准教授（社会学）
蛭名 正司	(A)	会津大学上級准教授（教授学習心理学）
沖 和砂	(A)	会津大学上級准教授（スポーツ健康科学）
荻間澤 勇人	(A)	会津大学教授（教育学）
河村 昭博	(P)(A)	会津大学上級准教授（教育学）
小暮 克夫	(A)	会津大学上級准教授（経済学）
中澤 謙	(PF)(P)(A)	会津大学教授（保健学）

※ (PF)巻頭言 (P)論文 (A)活動報告

会津大学文化研究センター研究年報 第32号 2025

2026年 3月 31日 発行

発行 会津大学
郵便番号 965-8580
福島県会津若松市一箕町鶴賀
Fax 0242(37)2751
編集 会津大学文化研究センター

